都道府県名：北海道	市町村名：厚岸町

1. 活動名

平成２２年度高齢者・車椅子利用者機能訓練事業「車椅子森林ウォーキング」

２．取組の背景、目的

道水産林務部では、北海道の豊かな森林を総合的に活用した健康づくりを推進することを目的に森林セラピーの普及・啓発を図っています。北海道釧路総合振興局森林室では、釧路管内における「癒しの森情報」として、厚岸樹木園のバリアーフリー施設の利用促進について広く情報発信しているほか、地域の高齢者介護施設との連携事業により、高齢者や障がい者の方々が安心して自然や森林に触れる機会を提供し、「心身への癒し効果」による健康の維持増進を図っています。

３．実施主体

共　催　北海道釧路総合振興局森林室

厚岸町内グループホーム

４．取組の概要

（１）　日　時

平成２２年６月１６日（水）第１回　平成２２年６月１７日（木）第2回

平成２２年６月２３日（水）第３回　平成２２年６月２４日（木）第4回

平成２２年６月３０日（水）第５回　※各日、午前１０時００分～正　午

（２）　内　容

北海道釧路総合振興局森林室が管理する道有林内の厚岸樹木園及びバリアフリー散策路での高齢者及び車椅子利用者への森林や植生解説などのほか、森林環境を総合的に活用し、森の癒し効果に着目した事業を実施しました。

☐森林療法の解説　　　☐厚岸樹木園内バリアフリー散策路による森林散策

☐道立厚岸少年自然の家「ネィパル厚岸」での自然の素材を活用した簡易なクラフト製作

☐同施設でのバリアフリートイレ及び休憩所等の使用

（３）　参加者

厚岸町内グループホーム　高齢者及び障害者　延べ１９名　同ホームサポートスタッフ　延べ１５名　北海道釧路総合振興局森林室　延べ１７名

５．支援事業

特記事項なし。

６．取組等についての成果や課題

近年、北海道内においても少子高齢化が進展しており、日常的に高齢者及び障がい者等は在宅及び高齢者介護施設内等での生活を余儀なくされている現状にあります。

この事業では、地元の同施設に入居する高齢者・障がい者等の「健康で生き甲斐のある生活」の維持増進を図り、入居者個々の身体機能回復訓練などを重視している。

また、北海道水産林務部としても森の癒し効果に着目した森林体験活動の促進を図っていることから、森林環境を活用した高齢者及び障がい者等の健康維持を維持する機会として重要である。

平成２２年度高齢者・車椅子利用者機能訓練事業「車椅子森林ウォーキング」

□開会式

　本事業では厚岸町内グループホームに入居する高齢者及び同サポートスタッフの参加により５回に亘り実施し、延べ３４名が参加されました。この事業では、森林浴による心身にもたらすリフレッシュ効果と森林セラピーなどの取組みについて参加者に解説しました。

□バリアフリー散策路を利用した森林散策・自然観察

　高齢者や車椅子利用者に森の癒し効果を体感させるため、厚岸樹木園内のバリアフリー散策路（延長１９３ｍ）を活用した森林散策を実施し、釧路総合振興局森林室職員がガイドを務めました。園内の特徴のある樹木や季節の草花の解説のほか、生活意欲を高めるための身近な話題なども提供し、参加者個々の五感を通じて森林や自然を体感する機会となるよう配慮しました。

□バリアフリー散策路・展望広場の利用

　バリアフリー散策路の終点にある展望広場において、施設内の生活では体験することができない太平洋沿岸を眺望し、参加者は高齢により長時間の歩行は困難なため、林間広場に設置された木製ベンチで休憩しました。地域の恵まれた自然環境や自然環境に触れ、参加者の表情には個々の活力を感じました。

□バリアフリートイレ等の施設利用

　森林散策後に厚岸樹木園に隣接する道立厚岸少年自然の家ネイパル厚岸において、室内休憩所及び車椅子利用者用トイレを利用しました。

□軽度の身体機能訓練

　高齢者の軽度の身体機能訓練を兼ねて、自然の素材（木製コースター、押し葉、押し花、各種森の素材）を活用したクラフト製作指導を実施しました。

　また、サポートスタッフも参加し、生活を離れての独自性豊かなオリジナル作品づくりに熱中しました。